

ともに生き、ともに輝く未来へ

カルティエは2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)において女性のエンパワメントとジェンダー平等などをテーマにした「ウーマンズ パビリオン in collaboration with Cartier」を出展する。数々の“女性初”の偉業を成し遂げてきた女優の黒柳徹子さんと、カルティエ ジャパンでCEOを務める宮地 純さんが、すべての人が輝く社会の実現に向けた課題について語り合う。

校長先生の「みんな一緒だよ」という言葉が私を成長させてくれました

性別、国籍、年齢にかかわらずすべての人が輝く社会を目指したい



京都大学法学部卒業後、外資系証券会社入社。仏INSEAD(インシアード)にてMBA取得後、ラグジュアリー業界でキャリアをスタート。2020年8月より現職

NHK専属のテレビ女優第1号となって以来、テレビやラジオ、舞台などで幅広く活躍。ベストセラー『窓ぎわのトットちゃん』(講談社)ほか著書多数。ユニセフ親善大使は就任40年



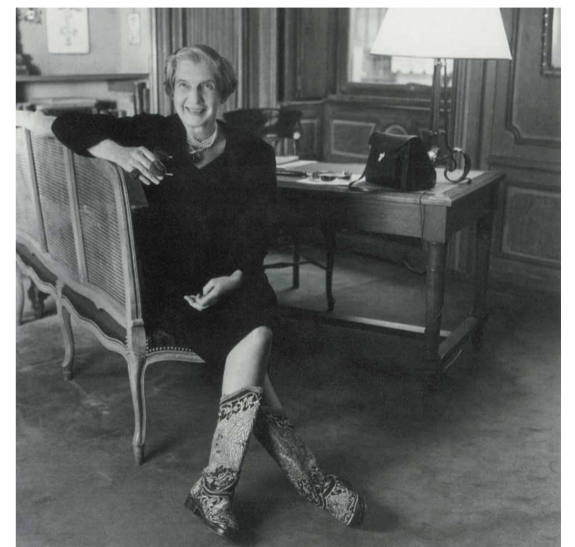
© Cartier
大阪・関西万博「ウーマンズ パビリオン in collaboration with Cartier」の出展は、2020年のドバイ国際博覧会に続いて2回目。内閣府、経済産業省、2025年日本国際博覧会協会との共催となる。グローバルアーティストリックリードには、第一線で活躍する女性アーティスト、エズ・デヴリンさんが就任。パビリオンのリードアーキテクトは、建築家の永山祐子さんが務め、ドバイ万博で永山さんが設計した日本館のファサードをリユースする点にも注目が集まる

カルティエ ジャパン プレジデント&CEO

女優・ユニセフ親善大使

宮地 純さん × 黒柳 徹子さん

みんな一緒。男女は関係ない
宮地 大阪・関西万博に出展するウーマンズパビリオンは、カルティエの多角的な女性支援活動の象徴です。2006年には女性起業家をサポートする「カルティエ ウーメンズ イニシアチブ」12年には「カルティエ フィラソフィア」を設立し、貧困に苦しむ地域の女性や子どもたちの生活改善を支援。次世代を担う若手の育成にも力を入れており、女性の海外大学院進学を支援する日本独自の奨学金制度も設けています。
黒柳 素晴らしい活動ですね。ユニセフ親善大使でアフリカ諸国に出かけると、女性の、とくに子どもや若い世代の支援が大切であると実感します。先進国の日本でも、ようやく改善の兆しが見えてきましたが、まだまだ女性が正當に評価される環境は整っていないように感じます。
宮地 世界経済フォーラムが23年に発表したジェンダーギャップ指数では、指数対象国146カ国中、日本は過去最低の125位。私は、カルティエジャパン初の日本人女性CEOと紹介されること多いのですが、それをわざわざ強調しなくてもいいような社会が実現することを願っています。
黒柳 私はテレビでニュース原稿を



Henry Clarke, Vogue © Condé Nast
カルティエは女性の社会進出に積極的な社風。1933年、メゾン初のクリエイティブディレクターもジャンヌ・トゥーサンという女性だった

読んだ初の女性だったのですが、現場では随分偏見も受けてきました。女性は黙って男性の後についてくれればいいという風潮が強かったんです。
宮地 父の仕事の関係で幼少期に欧州で暮らしていた私にとって、世の中は多様性に満ちているのが当たり前でした。日本では個性を認めるよりも協調性が重視されることが多いと感じます。
黒柳 幼少期の学びは大事です。私に通ったトモエ学園の小林宗作校長先生はいつも「みんな一緒だよ」と話してくれました。それが自分の人格形成に大きな影響を与えています。障害を持つ同級生との過ごし方を子どもながらに真剣に考えたことが今では宝物のような思い出になっています。みんな一緒なんです。もちろん男女の違いなんて関係ありません。
万博が「道」開ききっかけに
宮地 ドバイ万博でウーマンズパビリオンを出展した際に、世界各国の子どもたちが「男女平等って、どういうことだと思う？」という問いに答えている映像を制作しました。それを見てみると、子どもたちから見た世界は私たちが見ているよりもずっとフラットなことがわかります。まさに「みんな一緒」です。この言



© Jean Picon
18年目を迎える「カルティエ ウーマンズ イニシアチブ」。現在までに63カ国、297名の女性起業家に総額744万米ドルを支援

葉は、ウーマンズパビリオンが掲げる「ともに生き、ともに輝く未来へ」というスローガンも重なります。
黒柳 女性だけががむしやらの頑張ってもダメなね。日本人は前例のないものや、他人の才能を認めることがあまり得意ではないように感じることがあります。とくに男性は自分より優れた女性に対して自分の地位が奪われるのではという危機感を感じてしまい、女性の活躍を素直に応援できない人もいらっしゃるのかもしれないですね。男性の意識が少し変わるだけでも、もっと幸せな社会になるんじゃないでしょうか。
宮地 今回、行政と民間が一緒に取り組むのも意義深いことだと思います。民間企業1社だけでは限界がある。大きな組織や様々なステークホルダーがともに取り組んでこそ道が開けることもあります。万博には90カ国が参加しますが、既にアフリカ諸国からは一緒に何かできないかというオファーがありました。
黒柳 日本での取り組みが、アフリカ諸国の問題を改善するきっかけになるかもしれないね。
宮地 性別はもろもろ年齢、国籍を超えて、みんなが輝く社会を目指さすきっかけになればと思います。ぜひご家族一緒にご来場いただいて、何かを感じてもらえればうれしいです。



初めてお披露目されたウーマンズ パビリオンのロゴ。「ともに生き、ともに輝く未来へ」という思いが力強い文字に集約されている



黒柳徹子さんと宮地純さんの対談詳細は日経電子版広告特集でお読みいただけます。紙面で紹介できなかったテレビ番組制作現場での黒柳さんの体験談も。左の二次元コードからアクセスできます

大阪・関西万博の「ウーマンズ パビリオン in collaboration with Cartier」の詳細は右の二次元コードから

